AGC
Your Dreams, Our Challenge

TECHNICAL DATASHEET

Fluon PFA

フッ素樹脂

Fluon® PFA テトラフルオロエチレン-パーフルオロアルキルビニルエーテル共重合体

特長

・PTFE と同等の優れた耐薬品性、電気特性、滑り性を持ちます。
・そのうえ、他フッ素樹脂と比較して優れた成形加工性を有します。
・押出、射出、ブロー、ロトライニング、静電塗装など様々な成形法に適合します。
・**SEMI F57 やC90 などの半導体関連溶出規格に適合します。**

概要

Fluon® PFA は、四フッ化エチレンとパーフルオロアルコキシエチレンとの共重合体です。PTFE と同等の特性を備えているうえ、熱可塑性樹脂として溶融成形に適した特性も併せ持ち、「射出」、「押出」、「ブロー」など様々な加工法に対応しています。

●用途

・**半導体関連部材（チューブ、バルブ、継手、ナット、フィルターボディ）**
・電線被覆
・フィルム
・射出成型部品基





●基礎物性

グレード	MFR（g/10min）	融点（℃）	連続使用可能温度（℃）	MIT（回）	引張強度（MPa）	引張伸度（%）	曲げ弾性率（MPa）	SEMI F57
P-66P	1-3	305	260	500000	43	400	600	適合
P-63P	7-18	305	260	25000	49	450	600	適合
P-62XP	24-40	305	260	18000	39	460	600	適合
P-61XP	34-47	305	260	14000	33	470	600	適合

注）記載のデータはすべて弊社での測定値であり、保証値ではありません。これを使用した特許、事故、損害には責任を 負いかねます。

AGC化学品カンパニー
AGC株式会社
〒100-8405 東京都千代田区丸の内1-5-1 新丸の内ビルディング Tel 03-3218-5875 Fax 03-3218-7856
お問い合わせはこちら：https://www.agc-chemicals.com/jp/ja/fluorine/inquiry/form.html?f_id=FLN-JP-JA-0006
www.agc-chemicals.com

AGC Group Internal Use Only

フッ素樹脂

Fluon® PFA テトラフルオロエチレン-パーフルオロアルキルビニルエーテル共重合体

●応用物性

耐薬品性

Fluon® PFAはほとんどの薬液に侵されず、長期間厳しい環境下で使用することができます。
そのため、耐薬品性が必要な半導体製造工程や化学品工業などで使用の実績があります。

薬品	温度(℃)	時間(日)	引張伸度保持率(%)
硫酸/過酸化水素	150	28	103
発煙硝酸	25	28	91
濃塩酸	100	28	105
エタノール	78	7	124
アセトン	56	7	119
四塩化炭素	78	7	116
クロロホルム	61	7	109
トルエン	110	7	111
キシレン	138	7	104
ベンゼン	80	7	108
n-ヘキサン	64	7	100
メチルエチルケトン	80	7	94
酢酸エチル	77	7	100
アニリン	185	7	97
フェノール	182	7	94

※ 本データは保障値ではなく、測定値です

AGC Group Internal Use Only

フッ素樹脂

Fluon® PFA テトラフルオロエチレン-パーフルオロアルキルビニルエーテル共重合体

金属溶出性

Fluon® PFAはSEMI F57規格に適合します。金属溶出が少なく、純粋性の高い樹脂です。

金属	Fluon® PFA	基準値
Al	<0.1	≦5
As	<0.1	≦2
Sb	<0.1	≦2
Ba	<0.1	≦15
B	<0.1	≦30
Cd	<0.1	≦2
Ca	0.2	≦10
Cr	<0.1	≦1
Cu	0.3	≦10
Fe	0.4	≦5
Pb	<0.1	≦1
Li	<0.1	≦2
Mg	<0.1	≦2
Mn	<0.1	≦5
Ni	<0.1	≦1
K	<0.1	≦10
Na	<0.1	≦10
Sr	<0.05	≦0.5
Ti	<0.1	≦2
Sn	<0.1	≦2
V	<0.1	≦2
Zn	<0.1	≦5

※1 単位(μg/m^2)
※2 本データは保障値ではなく、測定値です

AGC Group Internal Use Only